

トップページ	商品一覧	事業一覧	企業概要	お問い合わせ	アクセス
------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	----------------------

[トップ](#) > [ニュース](#) > マルチフェロイック物質の電子機能制御過程を可視化

マルチフェロイック物質の電子機能制御過程を可視化

東北大学大学院理学研究科の松原正和准教授、青山学院大学理工学部の望月維人准教授、大阪大学大学院基礎工学研究科の木村剛教授らは、新たな多機能電子素材として注目されるマルチフェロイック物質を電場・磁場等の外場で制御し、その電子機能制御過程を可視化することに世界で初めて成功した。これにより、強誘電性を磁場で自在に制御できることを実証し、新しいメモリ・ロジック素子の基礎原理を確立した。さらに、従来認識されていなかった新たな電子機能を発見し、その発生メカニズムを解明した。マルチフェロイック物質の研究開発に新たな道を拓くだけでなく、革新的なナノエレクトロニクスへの展開が期待される。サイエンスに5日掲載された。

ツイート



●

2015年6月15日 | カテゴリー：研究成果

← 原子レベルの超薄膜で高温超伝導を発現・制御

イオンビーム育種を用い、新品種の作出に成功 →

デジタル版



スマートフォン版



データベースサービス



検索...

学会カレンダー

- ▶ **JSH国際シンポジウム**
2016年5月13日～2016年5月14日
- ▶ **日本小児科学会**
2016年5月13日～2016年5月15日
- ▶ **日本栄養・食糧学会**
2016年5月13日～2016年5月15日
- ▶ **日本地下水学会**
2016年5月14日～2016年5月14日
- ▶ **日本火災学会**
2016年5月16日～2016年5月17日
- ▶ **日本実験動物学会**
2016年5月18日～2016年5月20日
- ▶ **日本気象学会**
2016年5月18日～2016年5月